便利なローラートレイ付広口容器（登録番号4386785号）の使い方

この容器はローラーバケが直接入り、天面のトレイ部分で塗料をしごくことができる画期的な容器です。下記の使用方法にしたがってご使用下さい。
使用するローラーバケはミドルローラーやスリムローラーが適しています。

使用方法　●使用前に容器を前後によく振り、中の塗料を均一にします。（フタが開くおそれがありますので、注意して下さい）

①フタが容器の中に落ちないよう、フタについているつまみを持ちながら、フタの矢印のところと容器の角の間に、マイナスドライバーを差しふんでフタを開けます。フタの裏や容器の口の縁に、半乾きの塗料がついていることがありますので、ウエスで拭き取り、フタは保管しておきます。

② 右のようにラップでおおっておくと、洗う手間が無くなり後始末が簡単です。

③ 棒などで容器の底までよくかき混ぜ、塗料を均一にします。

④ローラーバケを容器の中に入れローラー部分に塗料をつけます。

⑤天面のトレイ部分でローラーを転がし、塗料をまんべんなくなじませて塗装します。

⑥ 塗装終了後は、トレイ部分や容器の口の周囲に付着した塗料をウエスなどで拭き取り、軽くフタをした後、両手親指でフタの両端を強く押してフタを閉めます。
②のようにあらかじめラップをしておくと、ラップを捨てるだけでほとんど汚れずに後始末が簡単です。

容器をラップでおおう方法

②-1
サゲ手はトレイ部の方へ倒した状態で、ラップを容器の天面より大きめにカットし、缶の天面全体をおおいます。
（ポリ塩化ビニリデンのラップをお使い下さい）

②-2
ラップを容器の天面にフィットするように軽く押さえ密着させ、余ったラップを缶側に巻き込けます。

②-3
容器の口の部分のラップにカッターナイフなどで切り込みをいれ、ローラーバケが入るようにします。カットしたラップは容器の口の内側へ巻き込みます。

②-4
サゲ手を持って場所を移動する時は、トレイ部のラップを容器の口の方へめくりあげてサゲ手を持って下さい。再度、塗装する時はサゲ手をトレイ部に戻し、ラップも元に戻して下さい。

使用上の注意

1. 塗装下地に錆故障、カビ菌がついている場合があり、その菌が容器内の塗料に混ざり込むと保存中に塗料が変質することがあります。早めに塗料を使い切って下さい。
2. 落下によりフタが開いたり、容器が変形することがありますので、容器の取扱いに注意して下さい。

●この商品は、水溶性のアクリル系ラテックスを使用しておりますので、多少天候のちがいで、多少天候のちがいで、多少乾燥までの時間が長くなることがあります。
●容器の底には、水溶性のアクリル系ラテックスを使用しておりますので、多少乾燥までの時間が長くなることがあります。
●容器の底には、水溶性のアクリル系ラテックスを使用しておりますので、多少乾燥までの時間が長くなることがあります。

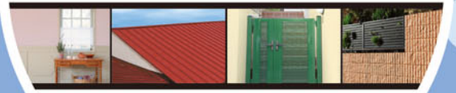
アサヒペン

無臭

防カビ剤配合
サビドメ剤配合

汚れに強く、高耐久

水性 シリコンアクリル樹脂配合 多用途カラー



［用途］●カラーベスト・スレート瓦・セメント瓦 ●トタン
●コンクリート・モルタル・ブロックなどの壁やへい
●台所・居間などの壁や天井 ●雨戸・羽目板などの木部
●門扉・フェンスなどの鉄部 ●サイディング
●プラスチック（一部除く）

ツヤあり

※ツヤ消しの仕上がりはツヤ消しに仕上がります。

臭い 3日後 無臭塗料
彩りクレルの合物は使用しておりません。

(社)日本塗料工業会登録
登録番号 A021134
ネットでアクセス 登録情報 F☆☆☆☆
問合せ先 http://www.toryo.or.jp
建築標準法で定められたホルムアルデヒドの放散量が基準を少なくとも30%下回るF☆☆☆☆に属しています。

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

水 使いにくいときは水で薄めてやってください

1回塗り 10L

標準塗り面積（1回塗り）
71〜94㎡ タタミ42〜56枚分

乾燥時間	
夏期 / 30分〜1時間	
冬期 / 2〜3時間	

塗り重ね時間の目安	
夏期 / 2時間以上	
冬期 / 6時間以上	

●この商品は、水溶性のアクリル系ラテックスを使用しておりますので、多少天候のちがいで、多少乾燥までの時間が長くなることがあります。
●容器の底には、水溶性のアクリル系ラテックスを使用しておりますので、多少乾燥までの時間が長くなることがあります。
●容器の底には、水溶性のアクリル系ラテックスを使用しておりますので、多少乾燥までの時間が長くなることがあります。

アサヒペン

無臭

防カビ剤配合
サビドメ剤配合

汚れに強く、高耐久

水性 シリコンアクリル樹脂配合 多用途カラー

［用途］●カラーベスト・スレート瓦・セメント瓦 ●トタン
●コンクリート・モルタル・ブロックなどの壁やへい
●台所・居間などの壁や天井 ●雨戸・羽目板などの木部
●門扉・フェンスなどの鉄部 ●サイディング
●プラスチック（一部除く）

ツヤあり

※ツヤ消しの仕上がりはツヤ消しに仕上がります。

臭い 3日後 無臭塗料
彩りクレルの合物は使用しておりません。

(社)日本塗料工業会登録
登録番号 A021134
ネットでアクセス 登録情報 F☆☆☆☆
問合せ先 http://www.toryo.or.jp
建築標準法で定められたホルムアルデヒドの放散量が基準を少なくとも30%下回るF☆☆☆☆に属しています。

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

水 使いにくいときは水で薄めてやってください

1回塗り 10L

標準塗り面積（1回塗り）
71〜94㎡ タタミ42〜56枚分

乾燥時間	
夏期 / 30分〜1時間	
冬期 / 2〜3時間	

塗り重ね時間の目安	
夏期 / 2時間以上	
冬期 / 6時間以上	

商品名　水性多用途カラー

品名　合成樹脂塗料（水系）

成分　合成樹脂（シリコンアクリル）、顔料（グリマは除く）、防カビ剤、サビドメ剤、水

特長
●塗れにくく、耐久性が優れた高性能塗料です。
●強力防カビ剤を配合していますので、長期間カビの発生を防ぎます。
●サビドメ剤を配合していますので、サビの発生を防ぎます。
●いやな臭いのしない臭気タイプで、1回塗りで仕上がります。
●厚塗りしても乏しくくく、たいへん塗りやすい塗料です。

用途
●カラーベスト・スレート瓦・セメント瓦・トタン屋根・トタンへい
●コンクリート・ブロック・各種サイディングなどの外壁やへい
●PC・雨戸・ガーデン用品など屋内外の木部や家具・木工品などの木製品
●フェンス・門扉・鉄柵・看板・おもちゃなどの鉄部、鉄製品
●台所・居間などのしっくい・モルタル・コンクリート壁・板壁
●発泡スチロール・アクリル・硬質塩ビのプラスチック面（他のプラスチック面には使用できません）

いぶし瓦・釉薬瓦・モニエル瓦、古ペ紙、絶えず水がかかったり、水につかるところ、いつも湿っているところ、また床面、テーブル・カウンターの天面には適しません。

塗装方法
①はがれかかった古い塗膜やサビは、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して充分に取り除きます。
●塗る面のゴミや汚れを取り、カビはカビドトリ剤で、油分はペイントうすめ液で拭いてよく落とします。
●釘にあいた穴などは、あらかじめパテなどで補修しておきます。
②塗料がついては困るところは、あらかじめマスキングテープなどでおおいます。
③フクレ・ハガレ防止のために下地処理の注意にしたがって下地処理を行います。
④右面の「便利なローラートレイ付広口容器の使い方」にしたがって塗装の準備をします。
●塗料の粘度が高く塗りにくいときは、水で少し（5%以内）うすめます
●夏期、塗装面が高温となり、乾燥が速すぎて塗りにくい場合はさらに少しずつうすめて調整します。
⑤コーナーや塗りにくいところは先にすじかいバケで塗ります。
●広い面積の部分はコテバケ・ローラーバケ・平バケなどを使うと、速く、楽に塗ることができます。
●マスキングテープは、塗料が手につかなくなったらがします。

用具の手入れ方法
塗料が乾かないうちに、水か湯で洗って下さい。

応急処置
●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。

取扱い上の注意
①表示の用途以外には使用しないで下さい。②体調が悪い時、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。③目に入ったり皮膚に付着しないよう注意して取扱って下さい。付着したまま放置すると炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。また、誤飲しないよう注意して下さい。④塗装中・乾燥中ともに換気をよくし、その後も塗料の臭いがなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。⑤塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。⑥直接日雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気のよい日に塗って下さい。⑦塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。⑧濃い色の上や、凹凸の大きな面に塗る場合や、うすめずそのまま、うすく塗りますると、1回塗りでは仕上がらないことがあります。⑨特殊なサイディング、カラーベスト、コーキング材・シーリング材の中にはハジキが生じたり密着しないものがあります。目立たない部分で試し塗りをして、密着することを確認してから塗って下さい。⑩コンクリート・モルタル・しっくいなどのアルカリ素材の上に塗ると、一時的に臭いが強くなることがあります。⑪塗り重ねるときは、夏期2時間以上、冬期6時間以上乾かしてから塗って下さい。⑫ペイントスプレーヤーを使用する場合は、空打ち状態にならないように注意して下さい。⑬スレート瓦の重ね り部が塗料で詰まった場合は、皮スキやカッターナイフなどで塗膜を縁切りして下さい。⑭塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。⑮高温になると塗膜がやわらかくなる傾向があります。また塗膜と塗膜・軟質塩化ビニール・レザー等が強い力で重なりあうと、くっつくことがあります。⑯容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。⑰やむをえず塗料を捨てるときは、水性塗料固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。⑱落下させると中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

下地処理の注意
フクレ・ハガレ防止のため以下の処理をして下さい。①つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗って下さい。②鉄部に面積塗る場合は、充分にサビを落とし、サビドメ塗料を下塗りして下さい。③旧塗膜を残して粉が手につく場合や、木質系および無機セメント系のサイディングに塗るときは、必ずアサヒペン油性シーラー、またはアサヒペン強浸透性水性シーラーを下塗りして下さい。④新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は、施工後1カ月以上経ってから行い、必ずアサヒペン油性シーラー、またはアサヒペン強浸透性水性シーラーを下塗りして下さい。⑤スレート瓦やセメント瓦に塗る場合は、アサヒペン油性シーラー、またはアサヒペン強浸透性水性シーラーを下塗りして下さい。たたし、劣化の激しい箇所はアサヒペン油性シーラーを下塗りして下さい。⑥トタン屋根に塗る場合は、サビやハガレがかかった旧塗膜を落とし、トタンの素地が出ているところは本品をひろい塗り、乾燥後全体を本品で塗って下さい。（サビドメ塗料は塗り残さないで下さい）

保管上の注意
①幼児の手が届かないところに保管し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。②直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車内などの高温になるところ、容器がさびやすいところには置かないで下さい。③残った塗料はしっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切って下さい。

危険　●適信性疾患のおそれ　●水生生物に非常に強い毒性

ほんの会社 アサヒペン　大阪市鶴見区鶴見4-1-12　http://www.asahipen.jp
お客様相談室 ☎06-6934-0300　日本製　00-1202